

海外の記者に強い印象を与えたのは、福岡市郊外にある福岡県福津市津屋崎地区のまちづくり活動する都市は、人口規模や直面する課題が異なる。だが、都市の将来像を考える上で共有できることの価値がある。2日間の視察も意見交換で、そう実感した。

## 「経済一辺倒から転換」共有

【主催】国連人間居住計画(ハビタット)福岡本部、西日本新聞社  
【後援】福岡県、福岡市、福岡アジア都市研究所



アジア各地のジャーナリストが都市問題について討議する「第11回アジア都市ジャーナリスト会議」が9月27、28日に福岡市で開かれた。日本を含め7カ国(中国、韓国、ベトナム、タイ、インド、モンゴル)の記者が参加。今回のテーマは「住み続けられるまちづくり—持続可能な都市開発・都市再生のあり方」で、福岡都市圏の団地などを視察した後、アーバン・クロス福岡(福岡市中央区)であったシンボジウムで、人口減少や高齢化などの問題について意見を交わした。司会(モデレーター)は、福岡アジア都市研究所の久保隆行・上席主任研究員。

## 第11回アジアジャーナリスト会議

福岡市

# 都市の持続可能性 探る



金山日報(韓国)  
きゅうくろき  
金銀英氏



ヒンドゥスタン・タイムズ(インド)  
ファイザン・ハイダーリ氏



上海日報(中国)  
万里新氏

### 暮らし重視にシフト

上海市では長年増え続けた出稼ぎ労働者の流入が昨年、減少に転じた。背景には家賃などの生活費高騰のほか、中国独特的戸籍制度により、都市部で学校教育や医療保障、生活保護などが受けられないという問題がある。一人子政策は今年

制度により、都市戸籍のない者は都市部で学校教育や医療、教育の面でなお不十分だ。これからは経済一辺倒ではなく、人の暮らし中心に政策も中小都市への誘導に変わるべきだ。だが、政策の中でも都市への誘導に変わるべきだ。だが、政策の中でも都市への誘導に変わるべきだ。

### 一極集中の解消必要

インドも大きな都市問題に直面している。デリー首都圏は、急激に人口が増加。都市計画を無視して建築が形成されているほか、スマ

都市の増加により、さまざまな問題が発生している。ごみ処理が追いついていないほか、大気汚染が深刻化。早期に対策を立てる必要がある。

デリー首都圏では家探しも大変だ。地方と同じお金で一軒家に住むことができない。どちらがより良い人

生だろうか。一極集中を解消し、より小規模な街でも人々が生活を楽しめるよう誘導する必要がある。

観光客が訪れた。補修費用や新たな雇用も生まれた。一方で旧都心のある地区では、行政が援助して古いアパートの空き室を老舗たちに提供したところ、人々が出て家賃が上がり、元

からの住民が住めなくなるという現象も起きている。

低成長の時代、所得格差も広がっている。皆生幸せられたときに、再認識されるものがある。シンボジウムを革新をキーワードにした再生が求められている。

### 高齢者への対策急務

バンコクは今も都市の規模が拡大し続いている。交

通網の整備も進んでいる。一方、高架鉄道はエレベーターの設置が遅れ、車いす

利用者にはとても不便だ。

車いす利用者の訴えを基に、裁判所はかつて駅にエレベーター設置を命じる判決を出した。しかし、今

歩道もでこぼこで歩きづらい所がある。バンコクは若い人向けの街と言える。

しかし、高齢化の波は確実に押し寄せてくる。年をとった時、私たちはどうやつて移動するのか。50年後のバンコクはどうなっているのかと思う。

### 経済と環境の両立を

急速な都市化が進む首都

や電気のための石炭・木材の大量燃焼、自動車の増加、都市建設に伴うもりなど

が深刻化し、特に10月から3月の冬季は最もときなりだ。空気が滞りやすい盆地

いほどになる。原因は暖房という地形的要因もある。



国際ジャーナリスト  
(モンゴル)  
サランチュヤ・ツェデブスレン氏

### 市民が将来像描こう



西日本新聞  
前田隆夫

### 地方再生の視点重要



ベトナムニュース  
(ベトナム)  
ファム・ホアン  
・AIN氏

カオソド(タイ)  
ティーラナライ・チャラバストラ氏

年9月現在、多くの駅が未設置のままだ。そもそも駅は工事で建設されておらず、スペースがないなどの理由もある。

歩道もでこぼこで歩きづらい所がある。バンコクは若い人向けの街と言える。

しかし、高齢化の波は確実に押し寄せてくる。年をとった時、私たちはどうやって移動するのか。50年後のバンコクはどうなっているのかと思う。

上海、ニューデリー、釜山、ウランバートル、バンコク、ハノイ、福岡。アジア都市ジャーナリスト会議に参加した記者が活動する都市は、人口規模や直面する課題が異なる。だが、都市の将来像を考える上で共有できる価値がある。2日間の視察も意見交換で、そう実感した。

海外の記者に強い印象を与えたのは、福岡市郊外にある福岡県福津市津屋崎地区のまちづくり活動する都市は、同じ過程で隣人やコミュニティの醸成に多くの記者がうんざりの窮屈な状況で、前田隆夫

は九州内外の訪問客の交流、宿泊に活用されている。それが新しい見えてくるんです」と、吉井、庄屋衛生の悪化、交通渋滞の現状を語った。日本の多くの都市は、同じ過程で隣人やコミュニティの醸成に多くの記者がうんざりの窮屈な状況で、前田隆夫

は「当たる前」の暮らしを大切にする山口さんの理念に共感している。困ったことがあれば誰かが助けてくれる。小さな古川という古い集落では、通りや老朽施設を芸術創作

た。成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辺倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辺倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。

成長著しい上海から想起され直す時期に、「経済一辆倒からの転換」と締結した。